

令和5年度 福祉用具プランナー認定講習 in 東京（小平）報告書

- 開催日 e-ラーニング期間：令和5年11月13日～令和6年 1月12日
- 集合研修 前期：令和5年12月14日～令和5年12月17日
- 後期：令和6年 1月19日～令和6年 1月21日
- 開催場所：フランスベッド(株) メディカレント東京3階研修室
- 受講生 : 29名
- 主催 : 公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団

福祉用具プランナーとは

福祉用具を必要とする高齢者や障害者に対し、必要な福祉用具の選定を援助、適切な使用計画を作成、利用の支援、及び適用状況をモニター・評価まで行うことのできる専門家。（テクノエイド協会福祉用具プランナー情報より引用）

福祉用具プランナ認定講習の目的

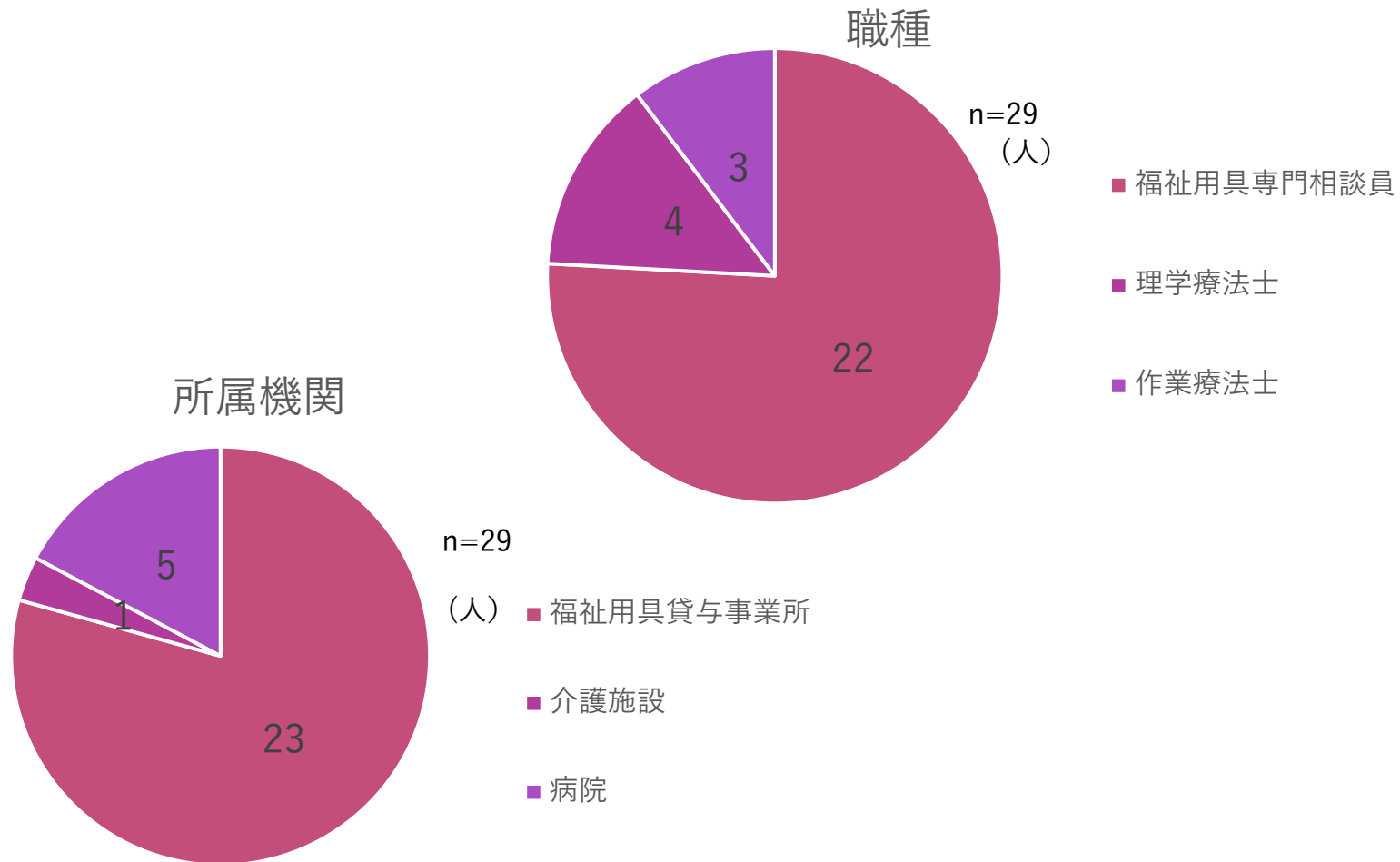
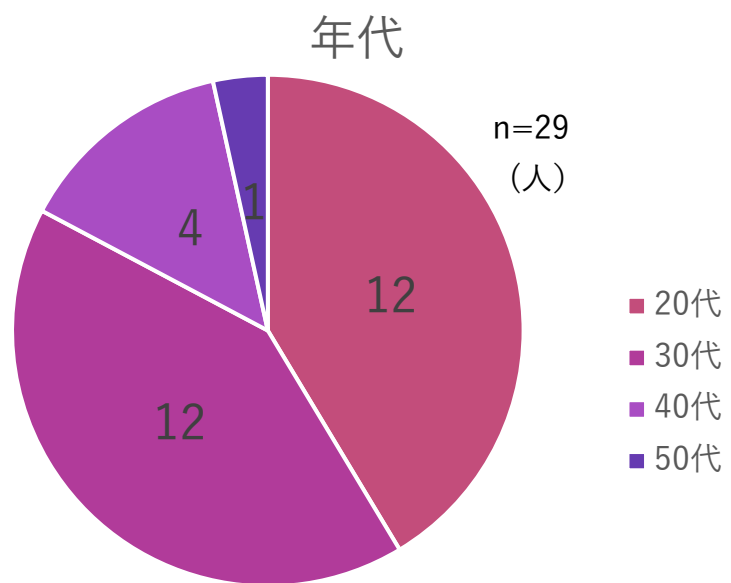
- ◆ 介護の現場において適正な福祉用具の利用が促進されるよう、福祉用具に関する知識や個々の福祉用具の利用方法などの専門知識を有する人材の育成を図る。
- ◆ 福祉用具に携わる様々な職種の対象者に、福祉用具の取り扱いについての共通認識を育て、それを基盤として福祉用具の適切な利用と供給の実現に資すること。

福祉用具プランナーの業務と役割

1. 福祉用具に関する一般的相談
2. 福祉用具プランの作成
3. 福祉用具の利用支援
4. 福祉用具適用後のモニター・再評価



受講生の属性



講師紹介



◆最新情報／職業倫理／対人援助技術：矢沢 由多加 先生
公益財団法人テクノエイド協会 普及部長 社会福祉士



◆床ずれ防止用具関連用具：後藤 茂美 先生
貢川訪問看護ステーション 皮膚・排泄ケア認定看護師



◆住宅改造：伊藤 勝規 先生
栃木ノーマライゼーション 理事長

講師紹介



◆構造とメンテナンス

びわこリハビリテーション専門職大学 講師／博士 辻村 肇 先生



◆排泄関連用具：浜田 きよ子 先生

高齢生活研究所 代表



◆起居・移動・移乗 等：藤井 智 先生

横浜市総合リハビリテーションセンター 理学療法士

講師紹介



◆相談援助のためのプランニング演習：吉良 健司 先生

在宅リハビリ研究所 所長

ほとんどが昨年度と同じ講師でしたが、どの先生も講義がブラッシュアップされており、わかりやすい講義と演習でした。



講師：7名
研修日数：7日間
研修時間：100.5時間
受講生：29名



演習の様子

- 左：電動ベッドの背板の構造を確認
- 中：家屋の平面図を実際に描く
- 右：ギャッチアップ時の除圧のための背抜き

実技演習の様子

- 左：ベッドから車いすへの移乗
- 中：マットレスの種類による固さ、寝心地を実体験
- 右：リフトの実技演習





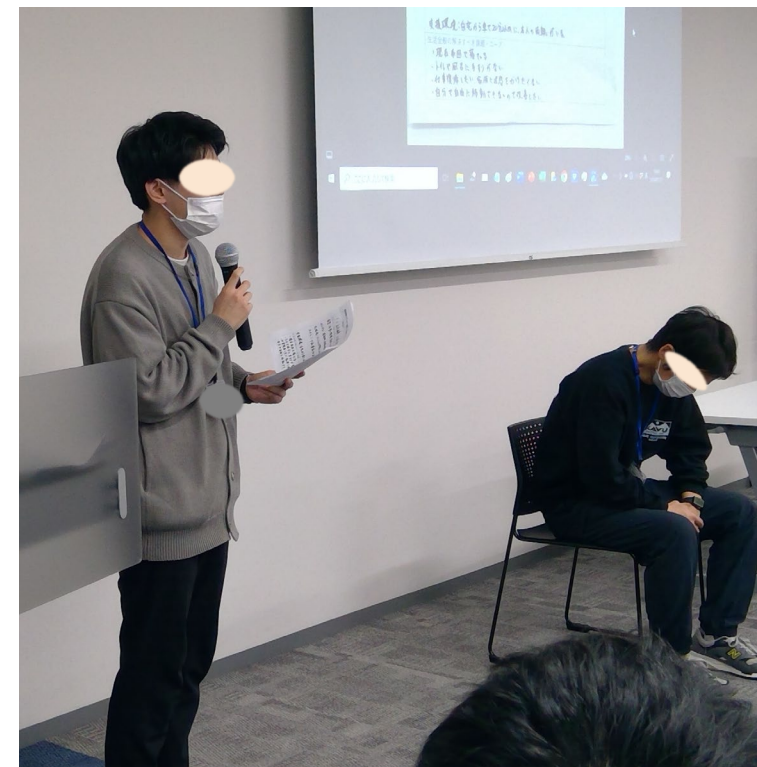
移動用具の実技演習

- 左：電動車椅子で段差を実体験
- 中：異なる機種 of 電動車椅子で段差を実体験
- 右：電動カートでバック移動の実体験

演習（事例検討）

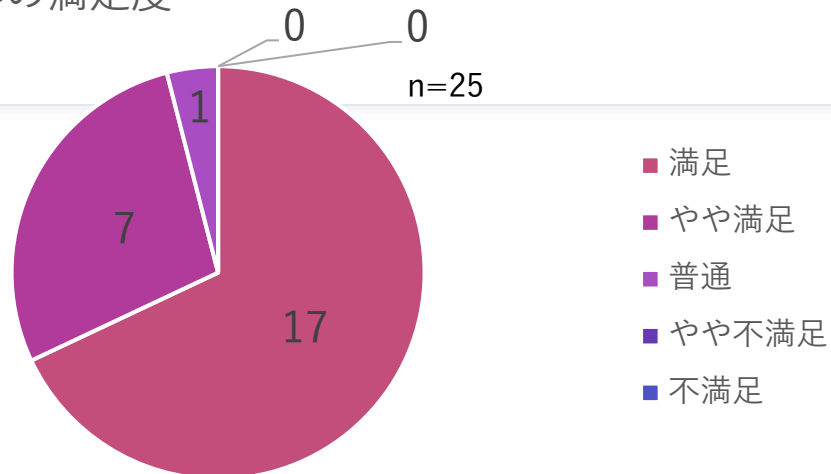
- ・ アセスメント
- ・ 生活課題の抽出
- ・ 住宅改修・福祉用具の
プランニング

- ・ 左：グループワークの様子
- ・ 中：検討結果をまとめている様子
- ・ 右：発表の様子 右の受講生は利用者さん役をしています。

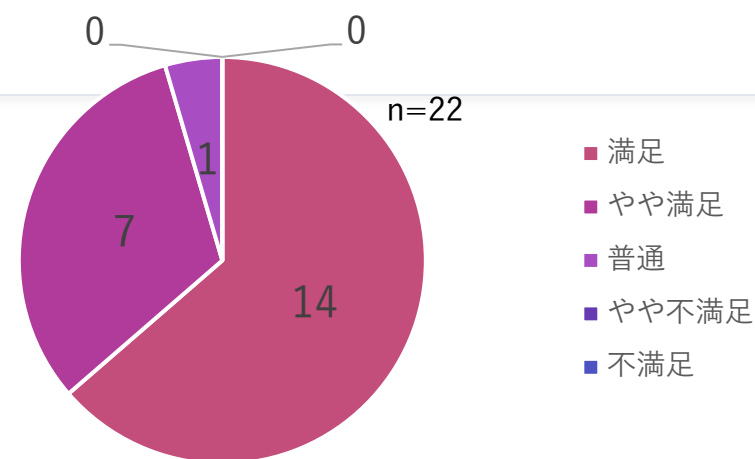


講習会の満足度

前期研修の満足度



後期研修の満足度



満足を選択した主な理由(前期)

- ◆ 現場で活かせる知識や情報、技術ばかりで勉強になっているため。
- ◆ 実技と講義のバランスが良く、勉強になった。
- ◆ 振り返りや新しい発見の良い機会になった。

研修の改善点(前期)(抜粋)

- ◆ 上記内容と重複するが、専門相談員のみカリキュラムを減らすなど個々に調整できるとより良いかもしれない。
- ◆ テストに出るところをもう少し話してほしい。
- ◆ 17時以降は集中力を保つ事が難しかった。

やや満足を選択した主な理由(後期)

- ◆ グループワークの中で出題された事例を自分たちでどうプランニングしていくかを話し合う演習があったため、他の人の考え方も共有することができて今後も仕事につながると感じた。
- ◆ やや説明がわかりにくかった。
- ◆ 全体的にeラーニングの割合が高く、テキストの何ページの内容なのかがわかりづらい。

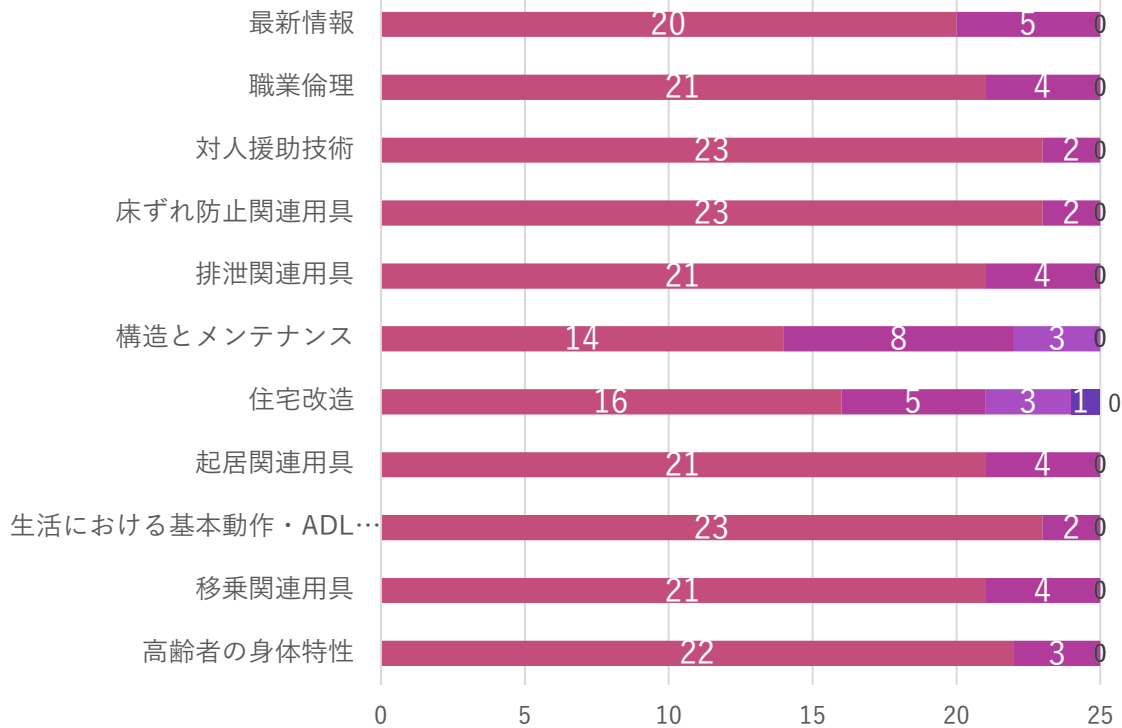
研修の改善点(後期)抜粋)

- ◆ 実際の事例検討の時間があれば尚良かった。
- ◆ 講師個別のスライドベースでの講義であったため、「今テキストだと何ページにあたります」などの声掛けがあると良かった。

科目別理解度

科目別理解度（前期）

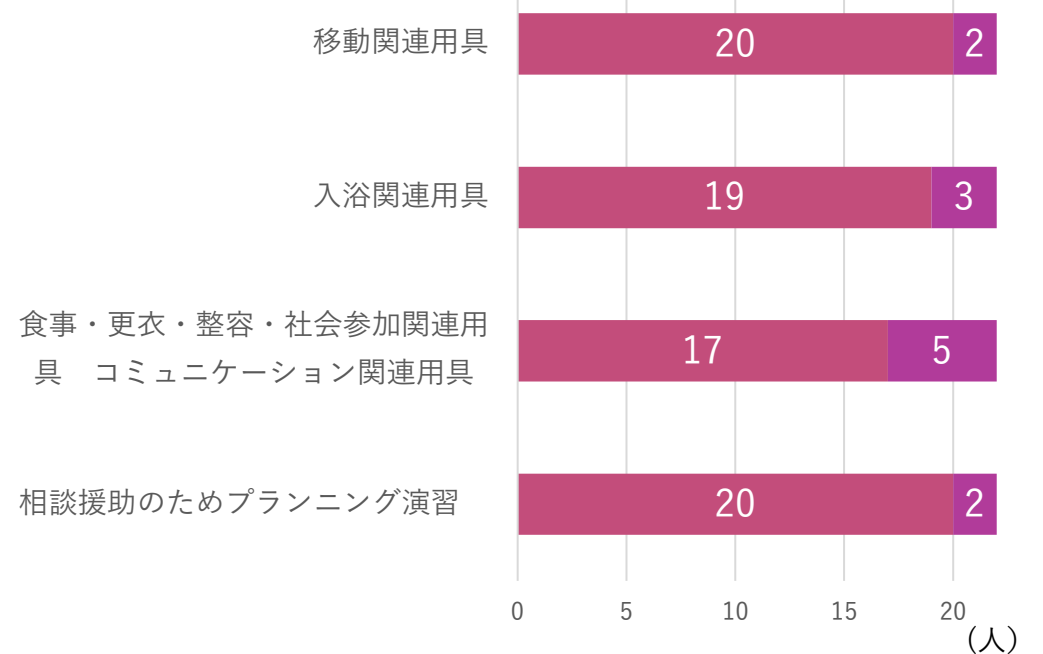
n=25



- 80%以上理解できた
- 60~70%程度理解できた
- 半分位理解できた
- 20~30%程度しか理解できなかった
- 理解できなかった

科目別理解度（後期）

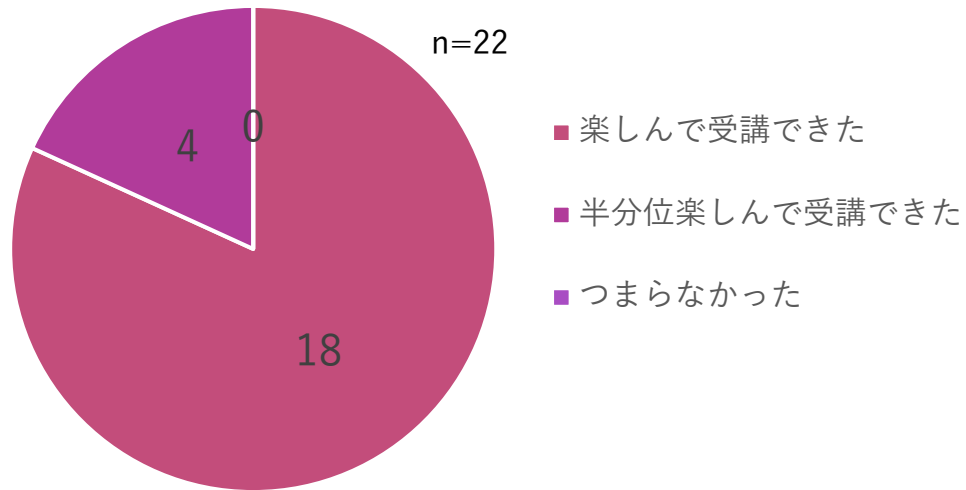
n=22



- 80%以上理解できた
- 60~70%程度理解できた
- 半分位理解できた
- 20~30%程度しか理解できなかった
- 理解できなかった

自由記述・ご意見・ご要望 他（抜粋）

楽しんで受講できたか(後期のみ質問)



お昼のお弁当



自由記述

- ◆ 自分の知識不足勉強不足を実感した。今後頑張っていきます。
- ◆ すごい綺麗な施設で過ごしやすかった。テラスも仕事の電話などしやすく、仕事を行いながら研修できた。
- ◆ 強いて言えば、避難経路についてご案内があると安心する。
- ◆ 近くに宿泊施設が少なく、ホテル探しが大変だった。

ご意見・ご要望

- ◆ eラーニングのテストの回答に解説を付けてもらいたい。
- ◆ 最終試験のためにもう少しテキストを扱っての講習が望ましいと感じた。
- ◆ クライアントの全体像を把握してプランニングをする考え方も学ぶことができ、とても勉強になった。クライアントを評価して、プランニングする事は、リハビリテーションやケアプランにつながる事であり、臨床に活かしていけることが多くあると感じた。
- ◆ 今後可能であれば、ネームプレートに職種が記載されていると良いと思った。
それぞれの職種によって着目点が違うので、実技の際によりお互いにフォローや討論が進むと考えている。

講習会の振り返り



- アンケート回答者の9割以上が「満足」「やや満足」を選択されており、概ね受講生のニーズを満たすことができたと思われれます。
- 「相談援助のためのプランニング演習」は、昨年度と比較すると理解度が上がっていました。今年度より企画内容を変更しましたが、受講生の方々が楽しそうにディスカッションする様子が見え、企画内容がブラッシュアップできたと評価いたします。
- 「構造とメンテナンス」「住宅改造」については、理解度が他の科目と比較すると若干低くなりました。但し、受講生の現場での経験値も他の科目と比較すると少ないと思われれます。次年度以降、経験値の少ない科目をどのようにカバーしていくか、講師とも相談していきたいと思います。
- 「e-ラーニングのテストに回答をつけてほしい」の要望は、毎年テクノエイド協会に伝えていますが、なかなか改善が難しいようです。引き続き、要望してまいります。
- 18時以降の講義については、8日間だと解消されますが、その分研修による拘束日数が増えることとなります。仕事を抱えながら参加されている受講生にとって、それが本当にいいのかどうか検討していきたいと思います。

受講生の皆様へ

- このたびは、当財団の福祉用具プランナー認定講習をご受講いただき、誠にありがとうございました。また、スタッフの対応に対するお褒めの言葉もたくさんいただき、心より感謝申し上げます。
- アンケートの全体結果は別添の資料をご覧ください。
- 今後もご意見・ご要望を検討し、引き続き講習会を企画・運営していきたいと存じます。何かございましたら、当財団迄お問い合わせください。
- また、当財団では他にも様々な研修や活動をしております。ぜひ時々ホームページをご覧ください。

公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団

e-mailアドレス info@fbm-zaidan.or.jp

〒187-0004

東京都小平市天神町4丁目1番1号 フランスベッド(株)メディカレント東京3階

TEL (042) 349-5435 FAX (042) 349-5419

